

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 岩田昭彦(宿河原小学校)
平成30年5月 第1号
担当 橘小学校 佐藤 謙

「川崎市立小学校情報教育研究会総会」を開催しました



平成30年5月9日(水)、川崎市立宿河原小学校にて、川崎市立小学校情報教育研究会総会を開催しました。本年度も多くの会員の皆さんを迎え、大盛況の中、開会されました。

情報・視聴覚センターより指導主事の草柳謙治先生にお越しいただきました。新学習指導要領の総則等を踏まえ、「情報活用能力育成のためのチェックリスト2017」を活用することやカリキュラムの全体像の把握をすることを通して、授業改善をしてほしいというお話がありました。

また、研究会からは藤沢研究部長より、今年度の研究の方針が伝えられました。今年度も「子どもたちにどんな力をつけさせたいか」を念頭に置いて研究をしていきます。また、今年度より4つのプロジェクトを立ち上げ、その分野において深く研究を進めていくことについて触れ、プロジェクトのリーダーより概要の説明が行われました。そして、7月4日(水)には、授業研究会が橘小学校で行われます。5年生算数において、教科のめあてと合致させ、プログラミング的思考をドリル型のソフトウェアを取り入れた授業を公開します。どのような教科や単元でプログラミング的思考多数のご参加をお待ちしています。みなさんで、プログラミング教育について考え、実践の一步を踏み出していただけたらと思います。

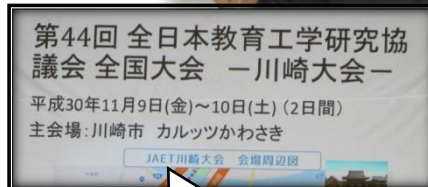
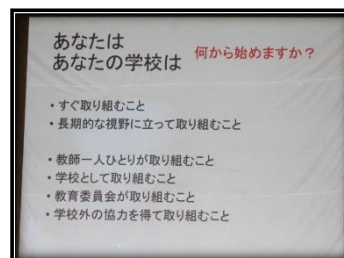
講演「新学習指導要領を意識した情報教育 (小学校教員や状教育研究会会員に期待すること)」

野中 陽一 先生 (横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター教授/日本教育工学協会会長)

第2部として、「新学習指導要領を意識した情報教育」について野中先生よりご講演いただきました。野中先生は、横浜国立大学で教員養成に携わり日々ご教授されている一方、日本教育工学協会(JAET)の会長を務められています。新学習指導要領の中で、私たちがどのように取り組んでいけばよいかをお話してくださいました。

情報化が急速に進み、先が見極めにくい世界で、私たち教員が未来社会を生きる子どもたちにどのような力をいづつけさせていけばよいかについて考える機会となりました。子どもたちは、自分自身で情報や情報技術を使いこなさないと生きてゆけないということが話題となり、小学校段階で基本操作やスキルを習得させることの重要性についてお話がありました。特にキーボードによる文字入力については、国際学力調査の結果から見ても、子どもたちにいづつけさせていく必要がある力であるとのことでした。このような情報活用能力を育成していくためには、情報・視聴覚センターが研究している「チェックリスト」を活用していくことも話題となりました。

講演の後半では、私たち教師が「まず何から始めるか」ということが話題に上がりました。野中先生は、まず教師自身が情報活用能力を付けていくことが大切とお話され、とりあえず自分がやってみること、そしてそのスキルを積み重ねていくこと、そしてそれを各学校のカリキュラムの中で位置づけていくことが大切であるとおっしゃっていました。小さな取り組みでも色々な教科や単元で情報活用能力の育成場面について考えていく、教師の意識改革が必要であるということでした。野中先生の講演をきっかけに、先生方一人一人の日々の授業改善につながっていくような講演となりました。



全国大会が
11月に
“川崎”で
行われます!

情報・図書主任会
6月20日(水)
15:30~
会場は後日お知らせします

情報主任会では、各区の情報主任が集まり、ICT活用や備品購入、放送委員会の活動などについて情報共有を行います。図書主任会では、児童が自分の体験と重ね合わせた読みについての読書活動についての実践報告や読書感想文についてお知らせを行います。情報主任、図書主任の皆さまよろしくお祈りします。